



infocom

株主のみなさまへ

2018年3月期 2017年4月1日 → 2018年3月31日

インフォコム株式会社

<https://www.infocom.co.jp/>

証券コード:4348

「共創」のスタートにより、 成長と投資を継続

代表取締役社長 CEO
竹原 教博



振り返り

2018年3月期の通期決算は、重点事業であるヘルスケア事業の回復と電子コミックの伸長により、売上高457.7億円、営業利益58.2億円、親会社株主に帰属する当期純利益46.4億円となりいずれも過去最高を更新しました。

ヘルスケア事業は、一昨年の診療報酬改定等の影響も漸減しており、病院向け製品の販売が順調に回復したことや、製薬企業向けの大型SI案件等により売上高を大きく伸ばしました。これにより、事業再編の影響で減収が続いていたITサービス・セグメント全体でも4年ぶりの増収となりました。

一方、急成長を続けている電子コミックは海賊版サイトの影響を受けたものの、独占先行配信等の施策により2桁成長を続け過去最高売上を更新しました。

共創 その取り組み

昨年度から始まった新中期経営計画では「共創」という言葉を掲げて、こ

れを実践しています。

医療・介護の分野では3年前にスタートしたデジタルヘルスコネクの活動を通じて、様々なアイデアや技術を持つITベンチャー企業と関係を構築しています。彼らとの協業により、介護記録システム「Daily」や、IoTセンサーを用いた見守り支援サービス「ミマモア」等のサービス創出につながりました。引き続き「共創」を推進して、医療・介護サービスのラインナップを拡充させていきます。

電子コミックでは、集英社様の「ブランドジャンプ」と初のコラボ企画を実施。同業のパピレス社様との資本・業務提携。そして電子書店5社による「日本電子書店連合」を発足させました。今後も様々な形で出版社や同業他社と「共創」して業界の発展に貢献していきたいと考えています。

今年度の目標

人手不足の深刻化や経済政策の停滞による影響が懸念されているものの、日本経済は緩やかな成長を続けており企業のIT投資意欲も高まっ

ています。とりわけ「働き方改革」のドライバーとしてもIT活用が期待されており、IoT、AI、ビッグデータ、RPA等の技術を活用したシステムやサービスの提供が必要とされています。そのような追い風もあり、事業基盤の整備が完了したITサービス・セグメントは、再び成長路線に乗せていきます。電子コミックも上期は海賊版サイトの影響が残るものの、AIを活用したマーケティング強化により読者層の更なる拡大を図り、2桁成長を続けます。

ヘルスケア事業と電子コミック事業を両輪とした業容拡大により2019年3月期は、売上高500億円、営業利益65億円という目標を設定しました。

株主還元

2018年3月期の期末配当は13円増配の28円としました。また2019年3月期の年間配当金を40円と予想しています。

株主のみなさまにおかれましては今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。



News Flash

2017.10-2018.3

2017年

10月

ITサービス

NICE RPA及びインフォコム デジタルレイバー・ソリューションを提供開始 **PICK UP**

ITサービス

消防服に内蔵するウェアラブルデバイスを共同開発

ヘルスケア

介護丸ごとIT!の推進、IoTによる見守り支援サービスを販売開始

11月

ヘルスケア

IoTを活用した認知症ケア支援サービスをAging2.0 OPTIMIZE Conferenceに参考出展

ネットビジネス

「めっちゃコミック」、オンライン決済サービス「Amazon Pay」を導入

ネットビジネス

「めっちゃコミック」、集英社から「グラウンドジャンプめっちゃ」を発売

12月

ITサービス

IoTを活用した危機管理情報ポータルシステムの新バージョンをリリース

2月

ヘルスケア

介護業界特化型ダイレクトリクルーティングプラットフォーム「ケアスタイル」の先行募集を開始

3月

ヘルスケア

情報ポータルを強化した治療RISの新バージョン提供開始

2018年
1月

ヘルスケア

MR向け業務効率化・意思決定支援の新ソリューションを大手製薬企業向けに構築

ネットビジネス

「めっちゃコミック」、日本文芸社とのコラボ企画を開始

ネットビジネス

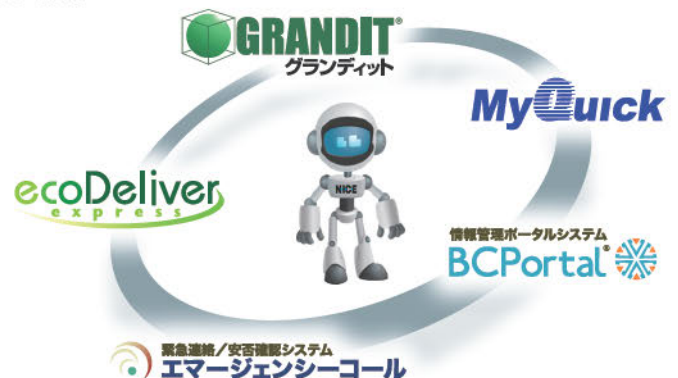
株式会社パピレスの株式を取得

PICK UP RPA市場に本格参入 企業の"働き方改革"を強力に後押し

インフォコムは、長時間労働や人手不足の問題を解決し、働き方改革を推進するテクノロジーとして注目を集めているRPA(Robotic Process Automation)市場に本格参入しました。

「インフォコム デジタルレイバー・ソリューション」の導入により、WEB-ERPパッケージの「GRANDIT®」など、インフォコムの業務支援サービスとRPAソフトの連携が可能に。定型的で繰り返し行われる業務を人の数倍の速さで、24時間365日休まず、正確に行うことができます。

インフォコムでは本サービスを皮切りに、RPAと他のシステムとの連携やクラウドサービスへの組み込みに積極的に取り組んでまいります。



中期経営計画「United Innovation “共創”」概要

基本方針と主要施策

2020年3月期

1. 成長の追求

- ✔ 電子コミックとヘルスケアを重点事業として成長
- ✔ M&Aの積極的推進
- ✔ AIやIoTを活用したビジネス展開

2. 成長を支える経営基盤の継続的強化

- ✔ 品質管理の継続強化とITを活用したサービス品質向上
- ✔ 業務プロセス改革による効率化と社会との協業推進の強化
- ✔ 事業推進・技術等の人材育成強化

売上高
600~800億円

ROE
10%以上

EBITDA
70~100億円

重点事業の取り組み状況



電子コミック事業

当第2四半期から海賊版サイトの影響を受けたものの、独占先行配信等の施策により、最高売上を更新。次期下期には海賊版サイトの影響も払拭され、さらなる高い成長を見込む。

2019年3月期の注力テーマ

1 出版社との協業企画の拡充

出版社の優良コンテンツ×アムタスのマーケティング力による、独占先行配信

2016

2017

2018

13作品

独占先行配信を開始

約300作品

集英社より初の電子書店連動企画が発売
「グランドジャンプめっちゃ」

拡大

作品拡充と出版社コラボ企画

3 事業規模の拡大

海外展開、M&Aおよび同業他社との提携

同業他社との連携、協業

「日本電子書店連合」設立

海賊版対策として、読者への正規版購入を啓蒙

パピレス社との資本・業務提携

海外展開

アジア・北米への展開



2 データ分析力の強化 AIを活用したビッグデータ分析

2016

2017

2018

自動タグ付け

- ▶ 業務効率化
- ▶ 売上増加

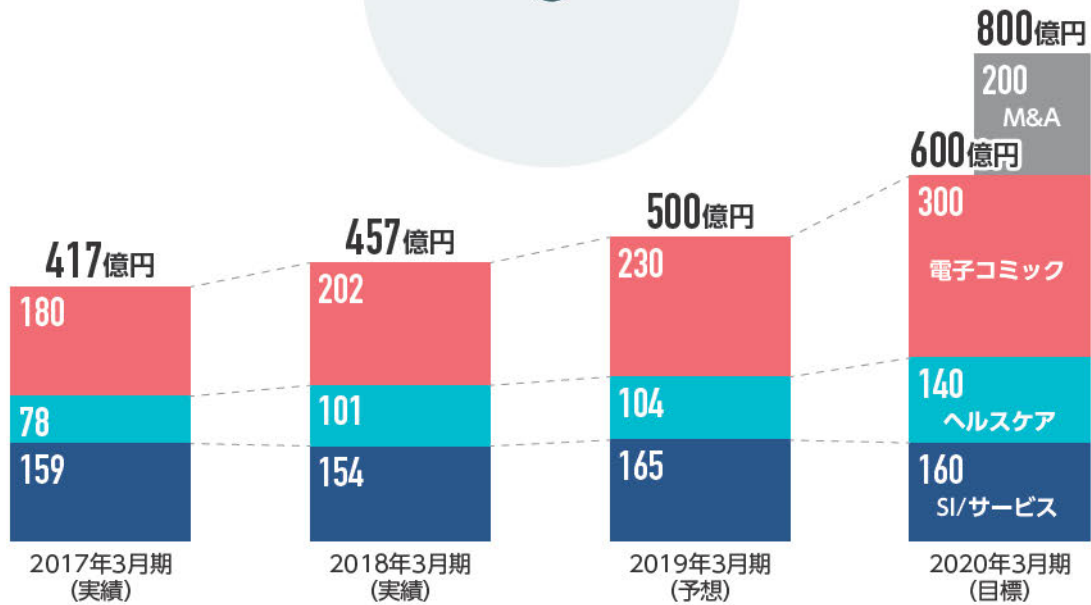
ビッグデータ分析を開始

- ▶ 処理スピード向上
- ▶ マーケティングへの活用

データ分析のレベル向上

- ▶ パーソナライズ領域の拡大
- ▶ 売れ筋作品の把握

成長のイメージ



ヘルスケア事業

当期は製薬企業向け大型SI案件等により売上高が大きく増加。次期は当期ほどの大型SI案件を見込まないが、ヘルスケア事業全体が順調に推移し増収を予想。

2019年3月期の注力テーマ

1 地域包括ケア領域における事業化加速 介護丸ごとIT!の推進と、周辺サービスの拡充



2 病院・製薬企業向けの新製品の販売強化 ヘルスケア領域における「働き方改革」を支援

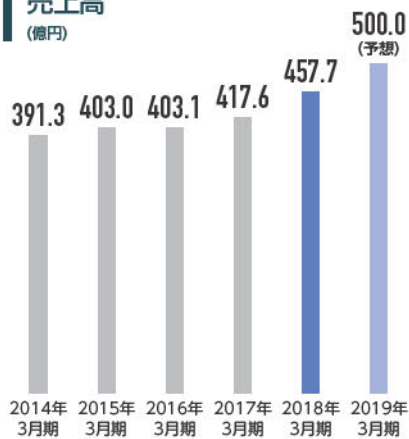
就業管理システムの 介護職員向け横展開 就業管理システム CWS	製薬企業向け製品機能強化 製薬営業支援ソリューション MR-SFA® Advance	放射線部門向け 製品の新バージョン 放射線治療システム iRad®-RT
--	--	--

POINT 1 ヘルスケア事業の回復と電子コミック事業の伸長等で、過去最高売上高・利益を更新

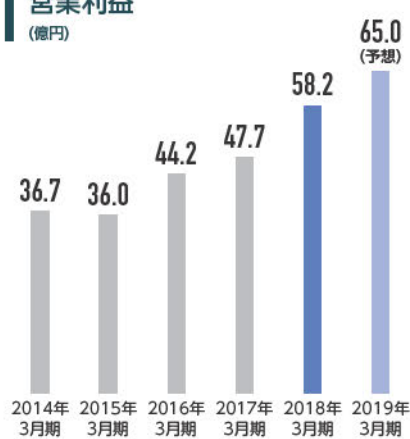
2 次期は引き続き電子コミック事業とヘルスケア事業を中心とした成長を見込み、増収営業増益を予想(最終利益は当期のデータセンター売却による特別利益11億円の計上の影響があり減益を予想)

3 1株当たりの年間配当金は、当期は前期比13円増配の38円(記念配当2円含む)を実施し、次期は普通配当ベースで当期比4円増配の40円を予想

売上高
(億円)



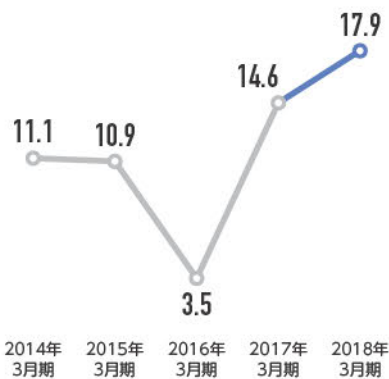
営業利益
(億円)



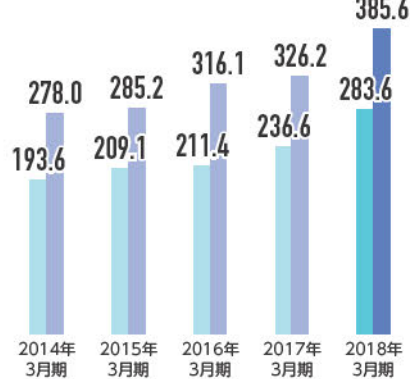
親会社株主に帰属する当期純利益
(億円)



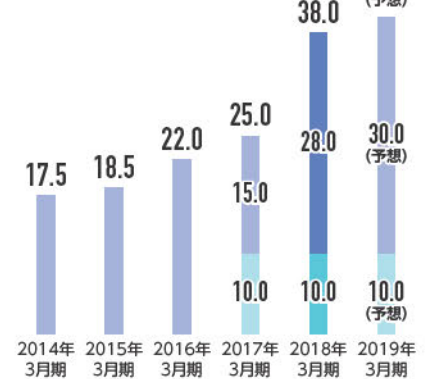
ROE
(%)



純資産/総資産
(億円)



1株当たり配当金
(円)



セグメント別の概況

ITサービス・セグメント

売上高

244.9億円

前期比9.3%増

ヘルスケア事業

101.2億円

営業利益

24.6億円

前期比23.6%増

ネットビジネス・セグメント

売上高

212.8億円

前期比10.0%増

電子コミック事業

202.3億円

営業利益

33.6億円

前期比20.0%増

第36回定時株主総会決議ご通知

当社第36回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告並びに決議されましたのでご通知申し上げます。

記

報告事項 第36期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、表記の内容について報告いたしました。

決議事項 第1号議案 剰余金の配当の件 本件は、原案どおり承認されました。当期の期末配当は1株当たり28円、配当金の支払開始日は平成30年6月18日でございます。

第2号議案 定款一部変更の件 本件は、原案どおり承認されました。

第3号議案 取締役6名選任の件 本件は、原案どおり承認されました。

第4号議案 株式報酬型ストックオプション行使条件変更の件
本件は、原案どおり承認されました。

以上

会社概要

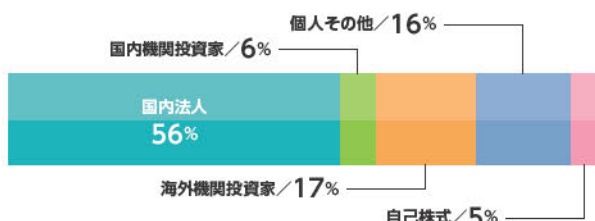
商号	インフォコム株式会社 (INFOCOM CORPORATION)
代表者	代表取締役社長 CEO 竹原 教博
設立	1983年2月
本社所在地	東京都渋谷区神宮前2-34-17
主要拠点	東京都渋谷区、大阪府大阪市、 神奈川県横浜市、福岡県福岡市
決算期	3月末日
資本金	15億90百万円
社員数	639名(単体) 1,074名(連結)
グループ会社	国内8社、海外2社

役員 (2018年6月14日現在)

代表取締役社長	竹原 教博
常務取締役	里見 俊弘
取締役	尾崎 俊博
取締役	間狩 泰三
取締役	社外 独立 津田 和彦
取締役	社外 独立 藤田 一彦
常勤監査役	玉井 隆
常勤監査役	社外 池田 一志
監査役	遠藤 則明
監査役	社外 独立 小倉 弘行

※ 社外 会社法に定める社外取締役・社外監査役
独立 東京証券取引所の有価証券上場規程に定める独立役員

株式の所有者別状況



株式情報

上場市場(銘柄コード)	東京証券取引所 JASDAQスタンダード(4348)
発行可能株式総数	115,200,000株
発行済株式総数	28,800,000株
株主数	5,302名
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金:3月末日 中間配当金:9月末日
売買単位	100株
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話 0120-232-711 (通話料無料)

公告の方法

電子公告として当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。公告掲載URL: <https://www.infocom.co.jp/>

大株主の状況

株主名	持株比率(%)
帝人株式会社	55.13
自己株式	5.03
インフォコムグループ従業員持株会	2.59
KBL EPB S. A. 107704	2.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1.71
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	1.62
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1.29
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	1.22
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	1.21

楽しみながらキャリアアップを インフォコム能力開発制度

インフォコムには、社員それぞれの職種やレベルごとに求められるスキルを明確にし、専門性を高めるための能力開発の制度、EDISON(Employee Development Is Success Of Next growth)があります。

EDISONの仕組みのうち、社員のレベルやスキルを上げる取り組みのひとつとして、社員主催の勉強会「ラーニングスクエア」と「実践コミュニティ」をサポートしています。

時には軽食をとりながらのカジュアルな雰囲気の中で開催され、ラーニングスクエアは2017年度には9講座、16回の勉強会が開かれ、のべ306人の社員が参加しました。



ラーニングスクエアの 開催テーマ例

- ▶ けいり勉強会
- ▶ スタートアップに学ぶ経営経験の活かし方
- ▶ デザイン思考ワークショップ



部署を越えて協力できる「場」を作りたい 実践コミュニティを主催する蓮見華奈さん

インフォコムの「品質マネジメント推進室」に所属し、製品やサービスを利用する際の体験や印象などのユーザーエクスペリエンス(UX)を向上させる仕事に関わる蓮見華奈さん。

「UXの考え方に興味がある人が相談したり知識を深めたりする場をつくりたい」という思いから立ち上げ、月に1度のペースで勉強会を開催しています。

「業務のかたわら資料などの準備をするのは大変ですが、他部署の社員と協力しあえる場があることがうれしいです」と、自身も積極的にラーニングスクエアなどの勉強会に参加するという蓮見さん。「インフォコムには他の人から吸収して知識を深めようというモチベーションが高い人が多いです。部署を越えて学び合うことがよりよい製品の開発につながると思います」と話しています。

株主優待制度のご案内

株主のみなさまの日頃のご支援に感謝するとともに、インフォコムグループの事業に対するご理解をより深めていただくことにより、より多くの方々に当社株式を長期的に保有していただくことを目的として、毎年9月30日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主さまを対象に株主優待制度を導入しております。

優待の内容

下表に記載の通り、保有株数と保有年数に応じて優待ポイント(1ポイント=1円相当)を贈呈いたします。優待ポイントは、インフォコムグループの株式会社ドゥマンが運営する「オーガニックサイバーストア」で利用可能なポイントまたはインフォコムがご用意した「優待商品」と交換いただけます。

単位：ポイント

保有株数	保有年数	単位：ポイント	
		3年未満	3年以上
100株以上500株未満		1,000	2,000
500株以上1,000株未満		2,000	4,000
1,000株以上		3,000	6,000

